



教育相談だより

属坂学園 心の支援部 令和4年10月号



朝晩肌寒く感じられるようになってきました。今日は子どもへの“褒め方”をご紹介します。育児書やネットを調べると“褒め方”について書かれたものがたくさんあります。多くは「子どもにはたくさん褒めましょう」ということが書いてありますが、実際に子どもを褒めてもあまり嬉しそうじゃなかったり、思春期の子どもに褒めると「うそくさい」と逆切れされたりした、という話も聞きました。なぜこのようなことが起こるのでしょうか。子どもが100点を取った時に「すごいね!」、かけこで1番になった時に「よく頑張ったね!」と私たちは褒めると思います。こうした能力や才能、行動の結果を褒められ続けた子は、失敗したりうまくいかなかったりしたときに、「100点じゃないからダメだ」「1番じゃないから遅い」と自分が目指すハードルを上げ、そこに到達できないと納得できず、次第に失敗したくないためチャレンジを避けるようになってしまうことがあります。このような子どもの態度は「固定的思考態度」と呼ばれます。こうならないためには、結果や能力ではなく、プロセスを褒めることが大切です。つまり、「結果がどのようなものであっても、取り組んでいた態度をほめる」ことです。具体的には5つのポイントがあります(下記参照)。こうしたポイントを意識して、子どもへの“褒め方”を考えてみましょう。そして、子どもだけでなく、一緒に子どもを育てる家族、自分自身に対しても、褒めたり感謝の気持ちを伝えたりすることが大切です。家族で褒めあうことで、コミュニケーションが良くなり、子育てを皆で協力してできるようになるでしょう。

*参考資料:「子どもの褒め方」,今井正司,2021年 <https://note.com/imashou/n/n6d1638cc4711>



<“褒め方”5つのポイント>

- ① 成功の手続き 「どうしたらそんなにうまくいくの」
- ② 挑戦>結果 「勇気を出して挑戦したことがすごい」
- ③ 褒めの相互効果 「〇〇くんも頑張っているから、褒めてあげよう」
- ④ 苦手感の減少 「苦手な〇〇もよくなってきているよ」
- ⑤ 良さの発見 「他にもこんなところが良かったよ」

10月の相談予定

◇幼稚園(入江SC):28日(金)

◇小学校

7日:長谷川SC、入江SC、12日:藤澤SSW

20日:入江SC、21日:長谷川SC、28日:長谷川

◇中学校

14日:藤澤SSW、28日:長谷川SC、藤澤SSW



☆おススメの本☆

「泣きたい夜の甘味処」中山有香里

ある子育て中のお母さん。子どものことを最優先で自分の時間なんてありません。毎日頑張っていますがちょっと疲れちゃった。。。そんなとき現れた甘味処。店主から「あなたの好きなものだけでパフェを作ります」と言われます。…日々の生活に疲れた人々が不思議なお店で“あなただけの一品”に出会う、ちょっとぴり切ないけどほっこりするお話が詰まっています。何より描かれているお菓子がおいしそう!レシピも載っています。どうぞお子さんと一緒に作ってみてください!



*相談を希望される方は、各園・学校の教育相談担当の先生までご連絡ください。詳しい日程をご案内します。コロナのため電話相談も行っています。

*昼休みに子ども相談実施中です。